



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第7号
平成29年6月5日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

初心忘るべからず

およそ600年前、能を大成した世阿弥（ぜあみ）は、能楽に関するさまざまな文書を執筆していたことでも知られ、50歳半ばに書いた『花鏡（かきょう）』という伝書には「初心忘るべからず」という言葉を書き残しています。

一般的に「はじめの志を忘れてはならない」という意味で使われていますが、世阿弥が言う「初心」は「最初の志」に限られてはいません。世阿弥は、人生の中にいくつもの初心があると言っています。若い時の初心、人生の時々々の初心、そして老後の初心。それらを忘れてはならないということです。（NHKテキスト View（『NHK100分de名著』2014年1月号より）一部抜粋）

さて、先週5月29日（月）から6月16日（金）までの3週間、本校卒業生である2名が教育実習のため母校に帰ってきました。1名は2年生社会科担当である稲葉教諭の、もう1名は1年生家庭科担当である伊藤教諭の指導のもと、授業に臨んでいます。すでに実習を1週間終えましたが、保護者の皆様には、自己紹介文を本号にて掲載し、教育実習生の紹介をいたします。この初々しい2名を見つつ、私は、教育実習時、教諭採用時、そして、教頭や校長赴任時の初心を忘れることなく、現在の川中生、本校教職員、保護者、地域の方々とともに、すばらしい川越中学校を創り上げてまいります。



に、すばらしい川越中学校を創り上げてまいります。



教科は家庭科、クラスは1年2組も担当させていただきます。
5年前に川越中学校も卒業し、教育実習生として来校させていただいたこと、とても嬉しく思います。
私が中学校に通学していた頃と比べ、生徒達は真面目でよい子たちだという印象を持ちました。授業ではよく手を挙げて発表する生徒が多く、積極的に授業に参加していると感じました。皆、明るく元気な、優しい子たちばかりで、初対面であるにも関わらず、元気に話しかけてくれたので、すぐに打ち解けられました。男女関係なく仲が良く、とても良い雰囲気のある学校だと感じています。
短い間ではありますが、よろしくお願いいたします。

5月29日から母校である川越中学校で教育実習をさせていただいています!!私は大学で歴史学を専攻し、部活動はバレーボールをしています。大学では地元を離れていますが、再び川越町に戻り生徒と関わることができて非常に嬉しく思います。

川越中学校の生徒の印象は、緊張している私にどの生徒も元々大きく大きな声で挨拶をして出迎えてくれたことです。全員がきちんと挨拶できることに、とても素晴らしく思い感動しました。また、担当教科である社会の授業では真剣な眼差しで学習する生徒の姿に教師としてのやりがいを感じています。休み時間や部活動では積極的に話しかけてくれたり、授業中とはまた違った一面を見せてくれたりと楽しい時間を共有できています。

3週間というとても短い期間ですが、私自身も生徒と共に成長してける様に、また生徒のみなさんに『私が実習に来てくれて良かった』と思ってもらえるよう精一杯努めていきたいと思っています。

し
か
れ
ば
、
当
流
に
、
万
能
一
徳
の
一
句
あ
り
。
ま
ん
の
う
い
つ
と
く
い
つ
く
初
心
不
レ
可
レ
忘
。
さ
ん
か
じ
よ
う
く
で
ん
こ
の
句
、
三
箇
条
の
口
伝
あ
り
。
ぜ
ひ
の
し
よ
し
ん
わ
す
る
べ
か
ら
ず
是
非
初
心
不
レ
可
レ
忘
。
じ
じ
の
し
よ
し
ん
わ
す
る
べ
か
ら
ず
時
々
初
心
不
レ
可
レ
忘
。
ろ
う
こ
の
し
よ
し
ん
わ
す
る
べ
か
ら
ず
老
後
初
心
不
レ
可
レ
忘
。
『花鏡』奥段)